



公開シンポジウム

みんなで「未来」をどうつくる？ — 実験室での生殖細胞研究の ELSI を考える —

3/11 (月) 14:00 ~ @東京 / オンライン

❖ 概要

3月11日(月)に公開シンポジウム「生命の動きをみて学ぶライフサイエンス-タンパク質研究の現在と細胞のダイナミズム-」が秋葉原 UDX 4階 UDX GALLERY NEXT1(東京都千代田区)にて、開催されます。

このシンポジウムは JST 社会技術研究開発事業「患者市民参画に基づくヒト幹細胞由来の生殖細胞研究の ELSI 対応とガバナンス<G-STEP プロジェクト>」において、近年大きく発展し、注目されている IVG 研究(幹細胞から生殖細胞を作成する技術)について知見を深め、また ELSI(倫理的・法的・社会的課題)の観点から考えることを目的に開催されるものです。

この十数年の間に、iPS 細胞などの幹細胞から精子や卵子といった生殖細胞を作成する研究(IVG 研究)は大きく進展してきました。それに取り組む研究者たちは、生殖細胞という次世代を作る細胞ができる仕組みの理解を通して生命の不思議に迫ろうとしています。近い将来、ヒトの iPS 細胞からの作成もできるようになるかもしれません。だからこそ、いま、「いのち」について、あらためて考えるべき時がきています。

本プロジェクトでは、IVG 研究のいまと未来について、多様な関係者とともにその ELSI(倫理的・法的・社会的課題)や進め方を考えることを目的としています。今回のシンポジウムでは、IVG の研究者や医療の専門家を交えて、みなさまと一緒に議論を深めたいと思います。つきましては、本イベントの積極的なご周知と当日のご取材・出席をお願い致します。

※ご取材いただく場合には、別紙・取材連絡票を3月6日(水)17時までにご提出願います。

❖ イベント概要

【日 時】 3月11日(月) 14:00 ~ 17:00

【場 所】 秋葉原 UDX 4階 UDX GALLERY NEXT1(ライブ配信あり)
東京都千代田区外神田4丁目14-1

【対象者】 一般市民

【参加費】 無料

【定員】 対面 180名、オンライン 500名

【参加申し込み方法】 下記 URL より事前申し込みください。

<https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/eth/seminar/20240311/>

【スケジュール】

14:00 開会

14:05 ご挨拶 唐沢 かおり(RInCA 総括、東京大学 大学院人文社会系研究科)



Press Release

- 14:10 プロジェクトの紹介 加藤 和人(大阪大学 大学院医学系研究科)
- 14:25 講演「IVG 研究の現状」林 克彦(大阪大学 大学院医学系研究科)
- 14:45 講演「精巣組織からの精子産生」小川 毅彦(横浜市立大学 医学研究科)
- 15:05 休憩
- 15:20 プロジェクトの取り組みについて
- 「市民パネルの設立に向けて」古結 敦士(大阪大学 大学院医学系研究科)
- 「IVG 研究の ELSI の整理」鹿野 祐介(大阪大学 CO デザインセンター)・山下 大輔(大阪大学 大学院医学系研究科)
- 「生殖補助医療の規制整備に関する議論の整理」村岡 悠子(大阪大学 大学院医学系研究科)
- 15:55 パネルディスカッション
- 指定発言:木村 正(大阪大学 大学院医学系研究科)
- パネリスト:
- 加藤 和人(大阪大学 大学院医学系研究科)
- 林 克彦(大阪大学 大学院医学系研究科)
- 小川 毅彦(横浜市立大学 医学研究科)
- 木村 正(大阪大学 大学院医学系研究科)
- 苛原 稔(徳島大学 大学院医歯薬学研究部)
- 村岡 悠子(大阪大学 大学院医学系研究科)
- 16:55 閉会の挨拶 加藤 和人(大阪大学 大学院医学系研究科)

❖ 取材の申し込みについて

別紙取材連絡票を 3 月 6 日(水)17 時までに公開シンポジウム事務局宛に E-Mail か FAX にてお送りください。
ぜひとも積極的なご取材をよろしくお願いいたします。